

## 議長総括(骨子)

### 1. 世界経済における成長と責任

ハイリゲダムにおいて、成長と責任のテーマの下、世界経済、気候変動及びアフリカについて議論。特に主要新興経済国の役割について議論し、緊密な協力につき合意。

#### ハイリゲダム・プロセス:

中印伯墨南アの5カ国と地球規模の挑戦につき議論し、投資、イノベーション、エネルギー効率、開発に関する対話の立ち上げに合意。

#### 世界経済の成長のためのG8アジェンダ:

世界経済が順調であるとの認識の下、世界的不均衡の円滑な調整の戦略等にかかる本件文書を採択。

#### 金融市場のシステミックな安定性と透明性／ヘッジ・ファンド:

ヘッジ・ファンドの積極的な貢献に留意しつつも、透明性の向上を通じてシステミック・リスクの最小化を希望。議長国と一部の国は、任意の行動規範の制定が一步前進となりうるという認識を示した。

#### 投資の自由、投資環境及び社会的責任:

投資の自由にコミットし、ハイリゲダム・プロセスにおいて新興経済国とともに投資条件を促進する。また、企業の社会的責任（CSR）につき議論し、CSR等の促進、社会保障の強化につき合意。

#### イノベーションの促進と保護:

世界経済の重要な原動力であるイノベーションの促進と保護のため行動をすることにつき合意。ハイリゲダム・プロセスの一環として新興経済国との共通理解を発展させるとともに、G8として税関協力、民間との協力を強化。

#### 気候変動・エネルギー効率と安全保障／世界経済にとっての挑戦と機会:

人類の主要な挑戦の一つであり、自然環境と世界経済に悪影響を与え得る気候変動については、IPCC報告と研究結果に懸念をもって留意しつつ、緊急に協調的な行動が必要であることとG8としての指導的役割が重要との点で合意。技術、エネルギー効率、市場メカニズムの果たす役割の重要性につき一致。排出削減の地球規模での目標を定めるにあたり、主要排出国を巻き込むプロセスにおいて、2050年までに地球規模での排出を少なくとも半減させることを含む、EU、カナダ及び日本による決定を真剣に検討する。

国連の気候プロセスが本件を議論するための適切なフォーラムであり、本年12月の国連気候変動会議（UNFCCC）における建設的な参加を呼びかける。主要排出国による新たな枠組みを2008年までに立ち上げ、2009年までにUNFCCCの下における地球規模の合意作りに貢献することの重要性につき合意。技術、エネルギー効率、市場メカニズムの果たす役割の重要性につき一致。中印伯墨南アの5カ国が「共通に有しているが差異のある責任」という国連の原則に基づき、気候変動に取り組むにあたり貢献していくことで一致。

### 天然資源への責任、透明性と持続可能な成長:

「採取産業透明性イニシアティブ」への継続的支援と認証制度の試験的研究の立ち上げに合意。

### 貿易:

ドーハ開発アジェンダの妥結の必要性を強調し、本年中のドーハ・ラウンド妥結を目指す本年4月のG6貿易大臣コミュニケにつき留意。すべてのWTO加盟国に建設的柔軟性を示すよう呼びかけるとともに、貿易担当大臣に今後数週間の内に多国間交渉がモダリティに関する合意へ至るための土台を提供するよう強く求める。

## 2. アフリカ

アフリカの成長と責任について G8 とアフリカ首脳で議論。

### 平和と安全:

長期的平和構築と暴力的な紛争の予防について議論。アフリカ待機軍の文民部門(含む警察機能)強化。小型武器拡散・過剰蓄積防止対策を支援。

### 経済成長と投資:

改革と改善された統治による、顕著で安定した経済成長を歓迎。MDGsを達成するため ODA、持続可能な民間投資が必要。アフリカの持続可能な成長のために普遍的な初期教育を強化。

### 良い統治と改革パートナーシップ:

「アフリカにおける相互審査メカニズム (APRM)」の進捗を歓迎。APRM の活用による改革の達成に向けた追加支援を合意。

### 保健システムの向上とエイズ、結核、マラリア対策:

適切な保健サービスに向けた保健システムの発展と強化の支援を合意。世界エイズ・結核・マラリア対策基金への拠出促進、マラリア対策、エイズ対策への普遍的なアクセスに向けた努力を強化。

## 3. 外交政策及び安全保障問題

### テロ対策:

テロの脅威に対処するための協力強化及び国連の役割に対する支持を確認。

### 不拡散:

大量破壊兵器等の拡散は国際の平和と安全に極めて重要な課題。核燃料サイクルに関する多国間アプローチの重要性を強調。

### グローバル・パートナーシップ:

カナナスキスでのコミットメントを再確認。今後、地理的範囲と2012年以降の延長につき議論。

### NSSG:

NSSGが、原子力安全と放射線保護に関し議論し、戦略的政策アドバイスを提示。チェルノブイリに関するG8コミットメントの確認。

### コソボ:

コソボの将来的地位問題につき依然として立場の違いはあるが、関与を継続する。

スーダン／ダルフール:

人道状況を懸念。スーダン政府の国連との協力を要請。

イラン:

イランの核計画による拡散上の影響に関し、重大な懸念を表明。イランが安保理決議を遵守しないのであれば、さらなる措置をとることを支持。

中東和平プロセス:

暴力の即時停止と自制を呼びかけ。

レバノン:

テロを非難。すべての陣営がレバノン政府及びレバノン国軍の権限を尊重するよう要請。

イラク:

暴力を非難。イラク・コンパクトの開始を歓迎。

アフガニスタン:

自爆テロ増加を懸念。アフガニスタンへの関与を継続するコミットメントを再確認。

ナゴルノ・カラバフ:

紛争解決は地域の平和と安定にとり重要。

北朝鮮:

我々は、北朝鮮に対し、NPT上の義務を完全に遵守するとともに、2005年9月19日の共同声明及び並びに安保理決議第1695号及び第1718号に従って、すべての核兵器及び既存の核計画並びに弾道ミサイル計画を放棄するよう求める。我々は、六者会合及び2005年9月19日の共同声明の誠実かつ完全な実施に向けた第一歩としての2007年2月13日に合意された初期段階の措置の速やかな実施を完全に支持する。我々は、北朝鮮に対し、拉致問題の早急な解決を含め、国際社会の他の安全保障及び人道上の懸念に対応するよう求める。

コロンビア:

コロンビア革命軍による人質解放等と呼びかけ。

4. 2008年G8サミット

日本の総理が、2008年7月に北海道洞爺湖でG8サミットを開催するとの申し出を歓迎。

(了)